４ 各事業の成果目標及び事業実績一覧表

目標、方針、施策、事業			各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
（計画目標） 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡					
（8つの重点項目） 中小製造事業者への重点的取組					
	◆	（重点項目①） 緑地率の緩和	工場立地法に基づく準則条例の制定（緑地率の緩和条例の制定）	なし 「静岡市工場立地法第４条の２第２項の規定に基づく準則を定める条例」をH27年11月に制定、H28年４月１日に施行済み	
	◆	（重点項目②） 大手製造企業の傘下企業に対する支援の検討	企業ＯＢ技術者等の現状把握及び活用方策の整理	■中小製造事業者に対するヒアリング調査を実施 ■市内企業と人材の交流会及び首都圏在住の人材掘り起こし等のためのセミナーを開催	※
	◆	（重点項目③） 中小製造事業者等を取り巻く規制事項の洗い出しと緩和の検討	市内製造事業者が課題とする規制事項及び緩和要望等の把握並びに緩和実現に係る方針の検討	経済団体との懇談等を通じた規制事項のヒアリング等の実施	※
	◆	（重点項目④） 本市の誇るべき中小製造事業者等の表彰	①静岡県知事表彰及び静岡市功労者表彰への推薦　３者表彰 ②中小製造事業者の技術表彰制度 表彰社数　５社表彰	①表彰者数　４者 ②表彰社数　６社	S
	◆	（重点項目⑤） 産業振興プラットフォームの考え方に基づく中小製造事業者支援	プロジェクト支援数　３社	プロジェクト支援数　10社	S
		（重点項目⑥） 国や県等の補助制度の情報提供と活用モデルの提案	国や県等の補助制度に関する情報の整理及び製造事業者への適時適切な情報提供	国や県、その他産業支援機関等のガイドブック、ホームページ等により、情報収集を行った	※
	◆	（重点項目⑦） 展示販売会等の開催による販路拡大に向けた支援	展示会等の誘致件数　１件	展示会等の誘致件数　１件	A
	◆	（重点項目⑧） ものづくり関連の民間活動団体への支援	広報等による支援の実施	■日立清水理科クラブの会報を配架し、活動の周知を実施した。 ■「静岡市長杯 水ロケット大会」への支援を実施した。	※
（方針1） 企業の誘致と留置の推進					
		（事業１） 企業立地の推進	新規企業立地件数　17件/年 ※（静岡市地域基本計画） 平成２５～２９年度 ８５件／５年	新規企業立地件数　43件	S

注）◆印は基本計画の策定に伴い新たに登載された事業を示しています。

目標、方針、施策、事業		各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
（目標） 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市　静岡				
（方針2） 新市場･販路開拓に対する支援（異業種交流支援を含む）				
	（事業２） 全国規模等の見本市への出展助成	全国規模展示会等への出展・開催件数　55件	補助金利用企業数　53件	A
（事業３）　首都圏におけるプロモーションの強化				
	（事業３－１） 特産品東京展示会事業	会場売上金額 500万円	期間中の売上額　613万円	S
	（事業３－２） ホビーのまち静岡推進事業	関連施設・イベント入込客数 219,000人	来場者数　257,807人	S
	（事業３－３） しずおか葵プレミアム認証事業	展示即売会　11回	展示即売会数　13回	S
	（事業４） 中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援	おおた研究・開発フェア及びおおた工業フェアの出展企業数　２社	出展企業数　１社	C
（事業５）　地場産品の販路開拓と販売促進				
◆	（事業５－１） 伝統工芸品等の展示販売会の充実化	各展示販売会来場者数 270,000人	各展示販売会来場者数 274,423人	A
◆	（事業５－２） 海外における地場産品の販路開拓	開発と販路等の検討	ドイツの世界最大規模の国際消費財見本市（アンビエンテ）における静岡市の工芸品（静岡挽物）の開発品及び既存商品の展示を実施	※
◆	（事業５－３） インターネットの活用による地場産品の販売促進	駿府楽市Ｗｅｂページ改修	なし （※H27年度に改修済み）	
◆	（事業５－４） 問屋的機能の再興に向けた検討	業界及び駿府楽市との検討会実施回数　27回	業界及び駿府楽市との検討会実施回数　27回	A
◆	（事業５－５） 地場産品販売拠点の充実化	駅駿府楽市来場者数　41.5万人	年間来場者数　41万人	A
（方針3） 新製品･技術開発等に対する支援				
	（事業６） 新産業開発振興機構の活用に関する検討	新産業開発振興機構との連携促進に向けた検討	■静岡商工会議所機構事務局と連携し、大学及び業界団体のマッチング可能性を調査 ■地場産業企業との協議を実施	※
	（事業７） 中小企業技術開発支援事業	研究会、セミナー等参加者への支援件数　１件	支援件数　１件	A
	（事業８） 若手グループの商品開発支援（ものづくり相談・支援）	講演会、指導会等の開催回数　３回	講演会、指導会等開催回数　11回	S

注）◆印は基本計画の策定に伴い新たに登載された事業を示しています。

目標、方針、施策、事業		各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
（目標） 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市　静岡				
（方針3） 新製品･技術開発等に対する支援				
（事業９）　専門家の指導による商品企画・開発支援				
	（事業９－１） 商品企画・開発支援プロジェクト事業	商品化件数　６件	商品化件数　６件	A
	（事業９－２） 新商品・特許事業	新商品開発及び産業財産権出願等の件数　25件	新商品開発及び産業財産権出願等の件数　27件	S
	（事業１０） アーティストとのコラボレーション支援推進（ニューウェーブしずおか創造事業）	開発点数　20点	開発点数　41点	S
	（事業１１） 地域課題に係る産学共同研究への支援	産学共同研究数　６件	産学共同研究数　８件	S
◆	（事業１２） 職人に対する商品開発手法等の教育	職人向け指導会等開催回数 １回	職人向け指導会等開催回数 １回	A
（方針4） 中小企業の経営基盤･競争力の強化				
	（事業１３） 国、県等に関する補助制度等の情報提供支援	国や県等の補助制度に関する情報の整理及び製造事業者への適時適切な情報提供	■国や県、その他産業支援機関等のガイドブック、ホームページ等により、情報収集を行った ■本市補助制度等の地域金融機関への説明会を実施	※
	（事業１４） 企業ＯＢ技術者等の活用事業	企業ＯＢ技術者等の現状把握及び活用方策の整理	■中小製造事業者に対するヒアリング調査を実施 ■市内企業と人材の交流会及び首都圏在住の企業OB技術者掘り起こし等のためのセミナーを開催	※
	（事業１５） 製造業部会等との連携推進	製造業部会等との連携による各支援制度のブラッシュアップ	静岡商工会議所からの行政要望を通じた意見交換等の実施、当要望に対する検討及び回答を行った	※
（事業１６）　中小企業の支援施策等に関する調査事業				
	（事業１６－１） 産業構造の将来動向等に関する予測モデル構築の検討	将来動向に係る基礎データの蓄積及び予測モデルの構築	本市のものづくり産業について、雇用の観点から業種毎のトレンドや将来予測についての考察を実施	※
	（事業１６－２） 地域間競争に臨む戦略的方策の検討	地域間競争に打ち勝つための戦略的方策の検討	第２次ものづくり産業振興基本計画に登載された全42事業のうち、23事業において当初の目標以上の進捗状況を達成することができた。	※
	（事業１６－３） ものづくり先進都市等に関する調査研究	先進視察都市数　１件	調査都市数　１都市（門真市）	A

注）◆印は基本計画の策定に伴い新たに登載された事業を示しています。

目標、方針、施策、事業		各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価
（目標） 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市　静岡				
（方針4） 中小企業の経営基盤・競争力の強化				
（事業１６）　中小企業の支援施策等に関する調査事業				
◆	（事業１６－４） エネルギー需要状況等に関する調査研究	現在のエネルギー需要の把握及び今後のエネルギー確保に向けた方策の整理	■冷熱利用についてのヒアリング調査を実施 ■市内企業の自家発電の現状把握方法の検討	※
（事業１７）　地場産品に関する調査事業				
◆	（事業１７－１） 地場産品の市場及び商品分析等に関する調査	首都圏等における調査実施回数　２回	首都圏等における調査実施回数　３回	S
◆	（事業１７－２） 伝統工芸品に関する代替素材の調査研究	他都市、他産地の事例を調査研究	■漆器、下駄、竹分野等分野における原材料の実態の調査及び業界団体と意見交換を実施。 ■竹素材の素材研究の実施	※
◆	（事業１７－３） 職人及び業界への支援の在り方に関する調査研究	他都市、他産地の事例を調査研究	他産地の調査研究の実施	※
（方針5） 次代を担う多様な人材の育成				
	（事業１８） 理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討	設置学科等に関する地元産業界におけるニーズを把握する	地元製造業者に対する静岡大学工学部等のシーズ説明会の開催	※
（事業１９）　職人の育成事業（市と伝統工芸業界の連携事業）				
	（事業１９－１） 若手後継者の技術習得支援（伝統工芸技術保存講習会の開催）	受講生　３０人以上 （漆器、蒔絵、木工、竹工芸、拭漆の５部門に関する講座）	受講者数　39人	S
	（事業１９－２） 職人育成事業（クラフトマンサポート事業）	制度活用者数 短期支援２人、長期支援２人、独立支援１人 （各人数は延べ）	短期支援　１人 長期支援　４人 独立支援　２人	S
	（事業１９－３） 若手職人の大学進学支援の検討	他都市、他産地の事例を調査研究	■業界ニーズの確認 ■首都圏美術大学教授による指導会の実施	※
	（事業２０） 高校生のインターンシップ事業	実施生徒数　50人	実施生徒数　81人	S
	（事業２１） ものづくり体験・学習機会の提供	駿府匠宿体験学習利用児童数3,600人	駿府匠宿体験学習利用児童数3,275人	A

注）◆印は基本計画の策定に伴い新たに登載された事業を示しています。